

そよかぜだより

第101号
発行 2010.10.17
毎月1回発行
社会福祉法人
そよかぜ

厚生労働省局長の無罪と地検特捜部長の逮捕

大事件に発展した障害者郵便不正事件

消えてしまった原点の制度改善

厚生労働省元局長の村木厚

と発表しました。

子氏の無罪判決確定と、大阪地検特捜部の証拠改ざん事件

事件の発端は、障害者郵便制度の不正利用事件でした。

による主任検事や部長の逮捕などでマスコミは連日大さわぎになっています。柳田法相は「特捜部長らが逮捕され検察への国民の信頼は地に落ちた。検察組織のあり方を見直す」として検討会議を設置す

ると発表しました。これについては一年ほど前のそよかぜだより84号でお知らせしましたが、その頃は、この事件がやがて司法界をゆるがす大事件になるとは思っても見ないことでした。こんなことになったのは仕方がな

いとしても私たちが残念に思うのは、大事件に発展したためにその陰にかくれて原点の郵便不正問題が見えなくなっ

てしまったことです。障害者福祉のために創設された制度が営利目的の企業に悪用され、企業は大きな利益を上げていました。福祉を食

い物にして濡れ手で粟の金儲けをすることが常態化していたことを残念に思い、不正利用を絶つた上で高すぎる利用条件のハードルを下げ、私たちが手軽に利用できる制度に改善してほしいという願いで前のそよかぜだよりで報告しました。

第41回羽村市産業祭

11月6日(土)
7日(日)

くれよん出店

どうぞお立ち寄りください

良い冬物を、どこよりも安く

たくさん取りそろえています。

※ 今年開催日程・日付にご注意ください。

※ そよかぜの展示コーナーはありません。

※ ボランティアさんをお願いします。

ところが最近のマスコミが伝えるのは、局長の無罪判決と検事の逮捕だけです。これはトップ記事にして詳しく報道しますが、原点の郵便制度改革については完全に無視されています。まさか厚労省がこの問題を忘れてしまった

連絡先
ひばり園 578-0855
FAX 578-0466
くれよん 578-2575
つくしの家 578-0855
エール 570-1233
スマイル工房 578-2723

資源回収時のご連絡は「ひばり園」へ

ご協力ありがとうございました。 9月の募金 40,141円
(順不同) 平成21年4月～22年9月の合計 233,905円

とまと美容室	様	藤野 和子	様	市川 幸子	様
帯刀 幸子	様	大野 元雄	様	北野 浩美	様
加藤 春花	様	森田 勝	様	村野 理子	様
加藤 夏花	様	古沢 奈保美	様	平岡 知子	様
加藤 和輝	様	井上 誠一	様	阿部 郁子	様
山下 暉枝	様	渡辺 時三	様	田中 明子	様
佐藤 佐夫	様	清水 賢	様	橋本 亜紀子	様
宇津木 牧夫	様	清水 知子	様	関村 理	様
山崎 六雄	様	大内 たま子	様	関村 英希	様
濱野 岬	様	山影 幸子	様	小沢 達子	様
榎本 正代	様	清水 キヨ子	様	長谷川 キヌ子	様
松岡 竹子	様	尾又 恭子	様	角野 克子	様
角野 満壽子	様	田村 由親子	様	吉野 満里子	様
袴田 実	様	田村 千佳	様	斉藤 忠	様
下田 コウ	様	竹内 照夫	様	桜沢 喜作	様
永岡 智恵子	様	田中 稔	様	本間 正彦	様
渡辺 四郎	様	ア-サンカワノ	様	ア-バンベンディックス	様
川崎 利男	様	榊八洋	様	宇津木 忠雄	様
加部 妙子	様	増田 一仁	様	匿名様(3,100円)	

ご連絡は、ひばり園へ
羽村市栄町3-3-1
042-578-0855

くれよん9月の売上げ
744,840円でした。

羽村市内の小学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でプルトップ収集にご協力して下さっています。ありがとうございます。

社会福祉法人 そよかぜの

《資源回収》に

ご協力をお願いします

新聞、雑誌、ダンボール

(ボロは扱っていません)

9月は24,020tでした。金額は407,556円となりました。

この収益は、社会福祉法人そよかぜの運営資金になります。

みなさまのご協力ありがとうございました。

11月は第3日曜日21日です。

知的障害の人は、純粹できれいでしょうか？

「うそ」も「ずるさ」も備えています

よい面と悪い面があるのは普通の人と同じ

障害者福祉に関わっている者が障害者への理解を求めるために、一般の人に対して言ったり書いたりするものは、ややもすると障害のある人を美化しすぎる傾向があります。このそよかせだよりでも、いままでのことを思い返すと、そのようなことはたくさんあったと思います。誤解されたり警戒されることが多い人たち、安心して気楽に近づいてもらうためには、どうしても悪い部分は抑えて良い部分を強調したくなります。

しかし、障害者に対してまったく利害関係を持ってない人からすると、それはえこひいきで不公平だ、事実をありのまま伝えてほしい、そうでなければ真の理解はできないといわれることでしょうか。それはたしかに正論で反論の余地はありません。ただ弁解をさせてもらうなら、社会には障害者への偏見や誤解はまだ

たくさんあるのでそれをなくしたいという気持ちが強いつい、ひいきになつてしまうということ。そこで今回はあえて悪い部分も紹介しようと思います。知的障害の人は純粹で心がきれいだというのは大きな間違いで、ずるいこともするし、うそもいいいます。ひばり園の中で、もつとも素直でおとなしくみんなから好感を持たれていた人が、朝、ひばり園に行くふりをして他のところへいき、行方不明となつてみんなを探したこともあります。

仕事がいやになつたのです。他の人はみんながんばっているのだから、君もがんばりなさいと強制したら本人はますますひばり園に出てこなくなりました。仕事がいやになつた原因はベアリングなどの出来高が他の人より低いことです。出来高のない仕事にしたら笑顔で出てくるようにな

りました。「がまん」をおぼえることも本人にとって必要なのですが、通園拒否という手を使われると親も私たちも勝てません。

そのほか具体例を一つひとつあげていけば、きりがないので一般的にいえば、知的障害の人の「うそ」や「ずるさ」は単純で底が浅くすぐバレてしまします。そのため周囲に大きな被害を及ぼすことはなく、たいていの場合笑つてすむ程度のものです。一般社会に充満している「うそ」や「ずるさ」に比べれば罪はいたつて軽いのです。

さてここで、古い話で恐縮ですが、菊池寛の「入れ札」という短編小説の粗筋を紹介します。「上州の代官を切り殺した国定忠治一家は、赤城山へ立てこもつて捕方を避けていたが、そこも防ぎ切れなくなる」と信州へ落ちていった。最後までついできた子分は十一人、しかしこれだけの多人数で他国を横行するわけにはいかない。「二、三人は一緒にいて貰いてえと思うのだが……」忠治は言いよんだ。辛

苦をともししてきた仲間たちだ、おまえは来い、おまえはダメとは、とても言えない。みんな「入れ札」をしてくれ、上から三人をつれて行こう。忠治の身内の九郎助は第一の兄貴分のはずだが、仕事ぶりがさえず、人望がない、入れ札で落ちるとなると、それをまざまざと見せつけられることになる。九郎助が胸算用したところでは、二枚入れば三人目にすべりこめて顔が立つ、入れてくれそうな男は一人きり、どうしてもあと一票欲しい。筆を持つ手がブルブルふるえた。彼は、紙を身体でおおい隠すようにして仮名で「くろすけ」と書いた。

自分で自分に投票する。それほどまでして惨めな思いをしなくなつたのだ。票をあけてみると九郎助は一枚きり、アテにできると思っていた仲間さえ入れてなかつた。ガツクリと肩を落として皆と別れたあと、裏切つた当の相手が九郎助に近づいてきて、いけしやあしやあと次にようにいつた「九郎助兄に入れたのはオレ一人、あとの連中の了見がしれねえ」

人間の心の汚さ、落ちて行く男の惨めさが際立っています。昔の話ではあつても今なお通じるものがあるでしょう。いやそれどころか、この醜さは現代社会ではもつと強烈になつていのではないのでしょうか。権謀術数が渦巻く政治の世界、ライバル企業を出し抜くことに血まなこになつて

いるビジネスの世界などでは、この程度は普通のことかもしれません。それについて行けなければ、うつ病になつたり、ひきこもつたりして落ちこぼれていき、自殺者や、ホームレスの増加へとつながつていく原因にもなつていのではないのでしょうか。知的障害の人たちにも「うそ」や「ずるさ」はたしかにあります、この「入れ札」のような、どす黒いものではないありません。だからといって純粹できれいだと単に美化するのも正しくありません。それは、相手をどん底に落とすような手の込んだうそをいうだけの能力を持つてないこと、の裏返しです。手柄にはならないのです。それが証拠に、人生の途中

で病気が事故によつて障害者になつた人が起こす問題には、普通の人と同じくらい深刻で底の深いものがあります。そのような人は、障害を背負うまでは健常者として一般の社会で働いてきたわけですから一般社会のアカに染まつている部分があります。知的障害者の上に立つて、教えたり注意してくれて職員を助けてくれるのはありがたいのですが、一方では社会のアカが思わず出してしまう、職員が頭を抱え込むことがあります。「入れ札」に負けないような黒い部分を見せてくれるのは、知的障害を持つてない人です。

人間はだれでも良い部分と悪い部分を持つています。どちらか片方だけで固まつている人などこの世にいるわけはありません。一般社会の醜さを逃れて、ただそれだけの理由で障害者に近づいた人は、期待がはずれることもあるでしょう。同じ人間ですから、それをしっかり押さえていれば、彼らはそれなりに生きていくために一生けんめいであることが、分かっていただけだと思います。